

＜調査結果報告＞

消費意識と消費行動の変化に関する調査（2023年11月）

三重県内の事業所で働く人を対象に、「ここ最近の消費に関する意識や行動の変化」について調査しましたので、結果を報告します。ご回答いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

【担当】株式会社百五総合研究所 コンサルティング事業部 調査グループ 谷ノ上（たのうえ）
三重県津市岩田21番27号 TEL059-228-9105、080-6961-5358

【調査概要】

- 調査期間：2023年11月16日～11月27日
- 調査対象・回答数：三重県内の事業所で働く202人

【調査結果】

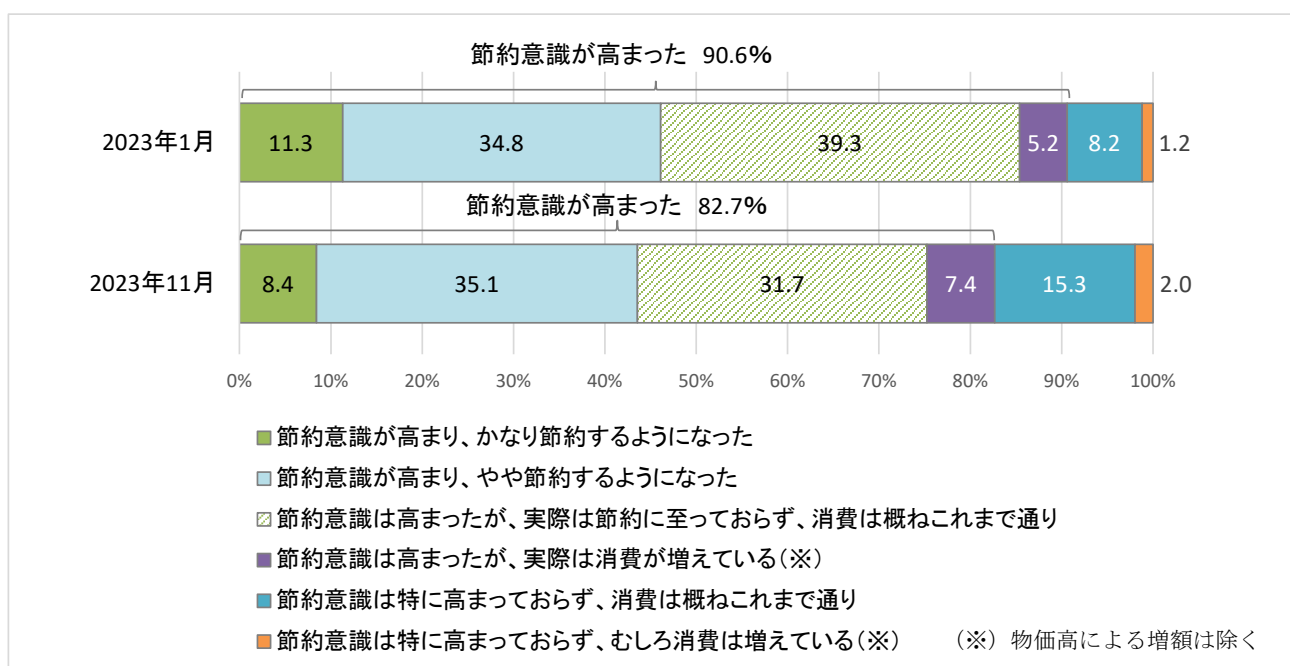
◆ “節約意識が高まった”は低下。コロナ5類移行で消費意欲高まる

「ここ最近、節約しようあるいは節約した方が良いという節約意識が高まった」人の割合は82.7%となり、23年1月の90.6%から低下した。

消費行動も持ち直した。「節約意識が高まり、かなり節約するようになった」人の割合は、1月より低下（△2.9ポイント）した。一方、物価高でも「節約意識は特に高まっておらず、消費は概ねこれまで通り」（+7.1ポイント）や、「節約意識は高まったが、実際は消費が増えている」（+2.2ポイント）、「節約意識は特に高まっておらず、むしろ消費は増えている」（+0.8ポイント）が上昇し、消費意識、消費行動ともに改善がみられた。

なお、ここ最近、特に消費が増えたものとしては、外食・テイクアウト（26.8%）や交際費・人づきあい（21.3%）、レジャー費（18.6%）などを挙げる人が目立った。

■最近の節約意識と消費行動の変化



(※)四捨五入の関係で内訳の集計と合計値が一致しない場合がある。

以上